令和８年度　加西市国民健康保険事業の運営に関する協議会　議事録（第１回）

１．日　　時：令和８年８月28日（金）　午後１時30分～午後２時40分
２．場　　所：加西市役所 ５階大会議室
３．議　　事：
　①諮問事項
　　【諮問第７号】結核医療付加金の廃止について
　②報告事項
　　【報告１】令和７年度加西市国民健康保険事業決算について
　　【報告２】令和８年度加西市国民健康保険特別会計当初予算について
　　【報告３】マイナ保険証の利用登録状況について
４．出席委員：【被保険者代表】　西脇一成委員 齋藤和子委員　前川祥子委員
　　【保険医又は保険薬剤師代表】　　生田肇委員　　窪田則彦委員
　　石川利美委員
　　【公益代表】　下村義明委員 宮永年郎委員 谷勝公代委員 小田幸代委員
５．会議出席者：　加西市長　高橋晴彦
　　市民部長　別府克紀
　　国保医療課長　藤後麻里　国民健康保険係長　牛尾充宏
　　国保医療課主任　萬谷久美子
　　税務課長　藤原聖吾　収納課長　是常耕三

---

1. 開会・挨拶
2. 議事録署名委員の選出
3. 諮問事項

【会長】
【諮問第７号】「結核医療付加金の廃止について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

【事務局】
（資料に基づき説明）
加西市国民健康保険条例に基づき独自に給付を行ってきた「結核医療付加金」について、令和９年３月31日をもって廃止するものでございます。
本制度は結核患者の自己負担分（5%）を全額給付する任意給付ですが、令和12年度の県内保険料水準一元化に向け、市町間の負担と給付の公平性の観点から見直しが進められています。罹患率の低下や他制度との兼ね合い、県内協議での合意を踏まえ、廃止のご提案をさせていただくものです。

【副会長】
加西市における結核医療給付の実績状況や、全国的な結核の傾向、また他自治体での実施状況について教えてください。

【事務局】
加西市国保における近年の給付実績は令和 5 年度に 1 件（2,000 円）のみで、令和 6 年度および 7 年度は給付なし（0 円）で推移しております。なお、社会保険等の加入者は、当該制度の対象とはなっていませんので、全国的な結核の傾向とこの数字には、そうした点でズレはあると思います。
兵庫県内では R8.4 現在で 41 市町中 33 市町が制度を導入している状況です。

【委員】
医療現場の観点から申しますと、加西病院での結核患者の発生は年間数例程度であり、通院治療や、入院が必要な場合は適切な専門医療機関への紹介を行っております。

【会長】
他にご質問等はございませんか。ないようですので、諮問第 7 号「結核医療付加金の廃止について」の採決を行います。原案のとおり承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

（全員挙手）
挙手全員であります。よって、諮問第 7 号につきましては原案のとおり承認することに決定いたしました。答申書につきましては事務局において作成し、市長へ提出いたします。

4. 報告事項
【会長】
次に報告事項に入ります。事務局より説明をお願いします。

【事務局】
（資料に基づき報告）
【報告 1：令和 7 年度決算】 歳入歳出決算額は 45 億 4,699 万円（予算現額 46 億 9,695 万円）となりました。被保険者数の減少に伴い歳入の国保税や歳出の保険給付費・事業費納付金が減少しております。収支不足補填のための基金繰入額は当初予定の 1 億 4,026 万円から 5,200 万円に縮小し、令和 7 年度末で 6 億 7,325 万円の基金を保有しています。また 1 人当たり国保税決算額は、10 万 3,748 円、現年分収納率は 96.14%となっております。

【報告 2：令和 8 年度当初予算】 当初予算規模は 44 億 6,900 万円（前年度当初比 2 億 1,700 万円減）となります。被保険者数は 6,883 人（417 人減）を見込みます。税率を据え置くことで生じる 1 億 3,163 万円の収入不足につきましては基金を取り崩して補填し、年度末基金残高は 5 億 4,163 万円となる見込みです。

【報告 3：マイナ保険証の利用登録状況】 令和 6 年 12 月の制度移行後、令和 7 年 8 月以降に利用率が急増いたしました。本市国保加入者の利用率は令和 8 年 5 月時点で 78.8%（全国平均 69.8%）に達しており、全国平均を大きく上回る高い水準で推移しております。

【委員】

令和 7 年 8 月以降、マイナ保険証の利用率が急増した要因は何ですか。

【事務局】

令和 7 年 8 月は紙の保険証廃止後初となる国保の一斉切り替え時期であり、マイナ保険証非保有者への資格確認書交付等の移行に伴い、大多数の方がマイナ保険証を利用する環境が整ったためと考えられます。

一つお聞きしたいのですが、マイナ保険証の運用等に際し、実際の医療現場や被保険者の方からの戸惑い等は生じていないでしょうか。

【委員】

医療現場におきましても、高齢者の方を中心にマイナ保険証の持参・利用が非常に定着しております。当院での利用割合も約 77%となっており、提示や受付処理においても特に大きなトラブルや混乱は発生しておりません。

【委員】

届いた通知の内容がややこしかったため夫にはマイナンバーカードへの一本化を勧めましたが、シニアクラブ等において、最初は端末操作や認証方法に戸惑う声が多く聞かれます。しかし「もう慣れないと生活できない」という共通認識もあり、今後は「ゆっくりでいいよ」といった丁寧なフォローやサポートがあれば、利用者がさらに増えるのではないかと感じています。

【委員】

特定健診の受診率についてお伺いしたいのですが、今回、受診率が 35%から 39.9%へ向上したとのことです。この実績について、一般的な水準や他市町村などと比較してどの程度なのでしょうか。

【事務局】
令和 7 年度の数値は現時点での暫定値となるため、昨年度（確定値）の状況についてご説明いたします。加西市の受診率は 37.6%であり、兵庫県内 41 市町中 25 位という結果でした。なお、兵庫県全体の平均は 35.1%であるため、昨年度の段階では県平均をやや上回る状況でありました。しかしながら、近隣の市町にはさらに高い受診率を記録している自治体も存在します。そのため、今後さらに受診率を向上させるべく、特に若い世代の方々をはじめ、より多くの方に受診していただけるよう取り組みを強化してまいりたいと考えております。

【事務局】
全国平均と比較すると少し低い状況で、市としては健診受診率をさらに向上させたいと考えております。健診の受診は、特定保健指導への接続や、最終的な医療費の抑制（病院受診の減少）につながるものであり、その真の目的は単なる平均寿命ではなく「健康寿命の延伸」にあります。市としては、こうした目的を持って取り組みを進めてまいります。
取り組みの一例として、若い世代の受診率向上に向けたインセンティブとして、ポイントを付与する事業を今年度から試験的に開始いたしました。本事業の成果につきましては、改めてこの場にてご報告させていただきたいと考えております。

【会長】
報告 1 から報告 3 につきまして、委員の皆様より内容をご了承いただきました。これにて本日予定されていたすべての議題を終了いたします。

5. 閉会
　閉会の挨拶　副会長